

GAP Japan 2017

—日本のGAPの今が分かる—



<企画目的>

食料・農業・農村基本計画をはじめ、近年策定される農政の多数の基本文書においてGAPの推進が位置付けられており、さらに本年5月に出された自民党の提言においては、GAP認証を平成31年度末までに現状の3倍以上とすることを目指すと明示されるなど、GAPの普及は日本農業の喫緊の課題としてクローズアップされています。そのような状況の中、GAPに対する意欲はかつてない程の高まりをみせており、認証取得や指導者の育成に向けた取組が全国各地で盛んになってきています。本シンポジウムでは、そのようなGAPをめぐる最新の動向を総括し、さらに今後のGAP普及のあり方に関する新たな方向を示していくために開催します。

<開催概要>

- [主催] 一般財団法人日本GAP協会
- [共催] 特定非営利活動法人アジアGAP総合研究所
- [後援] (各機関申請中)
- [日時] 2017年9月26日(火) 13時から17時30分
- [場所] 東京大学 弥生講堂(東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部内)
- [参加費] 5000円/1名 ※終了後懇親会(5000円/1名、場所:農学部アブルボア)
- [申込受付] 日本GAP協会Webサイトから



<プログラム>

- オープニング:GAPは進化する —深めるASIAGAP、広げる家畜・畜産物GAP— 日本GAP協会理事会
- 基調講演:フードチェーンとGAP・HACCP(仮題) 東京大学大学院農学生命科学研究科教授 中嶋康博
農業及び食品製造において、HACCPベースで農場から食卓までを一貫してとらえていく国際的な潮流への対応として、今後の方向性を読み解き、解説します。
- GAP普及大賞 2017
GAP普及大賞とは、その年で最もGAP普及に貢献した取組事例を表彰するものであり、毎年、個性豊かな素晴らしい事例が表彰されています。GAP Japanにおいては表彰式と受賞者の記念講演を行います。取組み事例はもちろん、それに貢献した事業者(会社)も候補対象になりますし、人も候補対象になります。JGAP/GLOBAL G.A.P./都道府県GAPなど、多様なGAPの取組みを対象とします。
—8/20まで候補者募集中—
(選考委員)
岩元明久(日本農業普及学会 副会長)
田口光弘(農研機構 北海道農業研究センター 主任研究員)
伊與田竜(北海道 網走農業改良普及センター 主任普及指導員)
- トークセッション①:生産者・団体とGAP
トークセッション②:流通業者とGAP
ここではGAPに関係する様々なステークホルダーの方々に参集頂き、GAPとの関わりや期待、今後の取組方向などを語って頂きます。



日本農業の応援団

JGAP

一般財団法人日本GAP協会

東京都千代田区紀尾井町3番29号 日本農業研究所ビル4階
TEL: 03-5215-1112 FAX: 03-5215-1113 <http://jgap.jp>